

Mi Vida en México

10ヶ月のメキシコ留学が終わり、無事帰国しました。7月は、学校も終わっていたため1ヶ月の休暇となり、これまでお世話になったメキシコ人に会ったり、メキシコ国内を旅行するなど最後までメキシコ生活を満喫することができました。

今回のレポートが最後となるため、今月の出来事を中心にメキシコの10か月間について書いていこうと思います。

親切なメキシコ人

この10か月は、色々なメキシコ人の優しさに触れた毎日でした。

今月もメキシコ北部を旅行した中で、多くのメキシコ人にお世話になりました。

メキシコ北部の都市モンテレイからバスで1時間半の所にある「サルティエージョ (Saltillo)」に野球観戦をしに行ったのですが、小さな都市で観光客が少ないため、ほとんど情報がない状態で街に向かいました。モンテレイから出発するバスセンターで待っていた時にサルティエージョ在住のメキシコ人男性が話しかけてくれ、高速バスを降りる場所から球場の近くを通るローカルバスに乗るま

で案内してもらいました。ローカルバスに乗ってからはその男性とは別れたのですが、私が野球を見に行きたいことを知った周りの乗客全員が、「このバス停を降りてあの角を曲がって、、、」など球場までの行き方を詳細に教えてくれました。そのおかげで、無事に球場にたどり着くことができ、10年前に広島カープでプレーしていたライネル・ロサリオ選手のプレーをメキシコで見ることができました。

また、この旅行は1週間ほどの日程だったのですが、ホテルに泊まる必要がありませんでした。私のスペイン語の先生である中島エバさんの知り合いのメキシコ人や、メキシコで仲良くなったメキシコ人の家に泊めていただいたからです。特に、エバさんの知り合いのメキシコ人とは、今回が初対面だったにもかかわらず、それでも、とても親切にしてもらいました。

日本で「おもてなし」という言葉が流行語になったことがありましたが、メキシコ人のおもてなし精神もそれに匹敵するほどでした。今回の旅行のエピソードは、ごく一部で、他にもメキシコ人のおもてなしを感じることは多々ありました。それは、直接の知り合いでなく、「友達の友達」のような人にも当てはまることでした。普段、メキシコシティで生活していても、定期的に「メキシコ楽しんでる？何か困ったことがあったらいつでも頼ってね」などと言ってくれるメキシコ人が多く、実際に色々な方たちに助けてもらい、メキシコ生活で困ったこ

とはありませんでした。

帰国直前に 10 か月間で知り合ったメキシコ人にそれぞれ別れの挨拶をする
と、「いつメキシコに戻ってくる？ここはあなたの家だからいつでも待ってるか
ら」と色んな人たちから言ってもらいました。この言葉からもメキシコ人の温か
みを感じ、メキシコに来ることができて良かったと心から思えた 1 ヶ月となり
ました。



日墨生と過ごした刺激的な 10 か月

メキシコでの生活は、メキシコ人との多くの出会いを通して、スペイン語を向
上させたり、メキシコについてたくさん学んだりできましたが、それと同時に、
日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修に参加した日墨生との出会いも
メキシコ留学を語る上で欠かせません。

今回、日本各地から集まった日墨生は 34 人で、大学生だけでなく、社会人も

多くいました。大学生の中でもスペイン語を専攻している人だけでなく、私のように違う分野を専攻している人、社会人では日本で働いていた人たちだけでなく、メキシコやその他の国に住んでいた人など、それぞれ経歴や所属も大きく違い、個性豊かな 34 人でした。大半の日墨生が語学学校 CEPE に通っていたため、同じクラスでなくても、学校で顔を合わせる事が多く、その都度お互いに近況報告をしたり、情報共有をしたりしていました。特に仲が良い日墨生たちとは、一緒に旅行や色々なイベントに行くこともあり、1 人では経験できないことも多く経験できました。

また、食事会が開催されることもあり、日墨生と親交を深めました。食事会では、日墨生だけでなく、大使館や JICA の職員の方々とお話する機会もありました。

その中で、サッカーメキシコ代表コーチの西村亮太さんとお話する機会がありました。JICA のメキシコ事務所が主催した食事会で、西村さんは日墨研修の先輩であることからゲストとして参加されていました。その際に、メキシコの生活等について話したのですが、個人的に西村さんに聞きたいことがたくさんあり 1 日では聞き足りず、西村さんをお願いして、帰国直前の 7 月に会う時間をいただきました。

メキシコでサッカーの存在は非常に大きく、高校までサッカーをしていた私

にとって、メキシコサッカーは特に関心のある分野の一つです。メキシコサッカーの重役を担う西村さんから話を聞いて、メキシコサッカーについてより深く知ることができました。

日墨生との交流や海外経験が豊富な日本人からお話を聞いたのは、今回の日墨研修に参加していなければできない経験だと思います。それがあったからこそ、10 か月間、様々なことにチャレンジし、充実したメキシコ生活を送ることができました。



日墨 49 期生



サッカーメキシコ代表コーチの西村亮太さん

終わりに

先日、広島県がグアナファト州とスポーツ交流協定を結んだという報道を見ました。そこには、これまでのスポーツを通じた交流を深めること、来年開業する広島のサッカースタジアムでの交流試合について触れられています。この協定によって、今後の両国のスポーツの交流がさらに発展するだけでなく、これま

での日墨の交流の幅がより広がるものになるのではないかと今から楽しみです。
そして、このように発展を続ける日墨の交流に、私も携わることができるように、
頑張っていきたいと思います。

改めて、メキシコでの生活は、想像以上に充実した刺激的な 10 か月でした。
メキシコでしか経験できないことを通して、学んだこと、考えさせられたことが
この 10 回のレポートには書ききれないほどたくさんありました。それらを今後
の大学での勉強、将来に役立てていきたいです。

メキシコについてまだまだ知りたいことは沢山あります。次にいつメキシコ
に行けるのかは未定ですが、それまでの間にも、日本でメキシコ人と交流を続け
たり、イベントにより積極的に参加するなど、たくさんメキシコに触れていけた
らと思います。

また、10 回のレポートを読んでいただきありがとうございました。私が経験
した様々な面のメキシコを紹介したレポートを通して、少しでもメキシコの魅
力が伝わっていれば嬉しいです。

10 か月間のメキシコ留学を無事に終えることができたのも、日墨生、広島県
庁の方々、広島県人会の方々、そして何よりメキシコに行くきっかけを与えてく
ださった中島エバさんのおかげです。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。